

道路功労者表彰

白老町花とみどりの会（桑田正博会長）が北海道開発局から道路功労者表彰を受賞しました。同会では「ヨコストはなのみち」「虎杖浜フラワーロード」の2団体が町内の国道36号沿いで植樹帯への植花や維持管理および歩道清掃、道路美化に貢献して、今回は平成30年より2度目の受賞となりました。大塩英男町長は「一年中花や美化活動に尽力いただいております。これからもお力添えいただきたい」と話していました。（8月26日）



まちづくり 協力に感謝

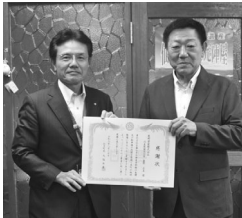
港湾振興に寄付



白老マリンクラブ（藤森清光会長）から、港湾発展に役立ててほしいと10万円の寄付を受けました。現金での寄付は今回が2回目ですが、これまで草刈り機の寄付や白老港内の草刈りの奉仕活動など行ってきました。藤森会長は「気持ちほどですが、少しでも長くやっていきたい」と話していました。（8月21日）

鹿野塗装に感謝状

仙台藩白老元陣屋資料館のボランティア活動をした鹿野塗装株式会社（鹿野広克社長）に感謝状を贈りました。同館および史跡白老仙台藩陣屋跡での塗装作業などを行いました。大塩英男町長は「町制施行70周年と陣屋資料館開館40周年の節目の年に白老の歴史を知ってもらう施設になっているので、環境整備は欠かせない。感謝しています」と話し、鹿野社長は「来年は南門をやりようと思っておりますが、白木に戻すという塗装の仕方をするので技術のいる作業になる」と話していました。（8月30日）



ふれあい食堂へ寄付



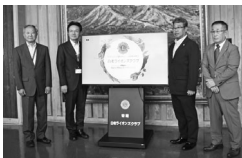
ふれあい食堂



苦小牧地方法人白老地区会（清水尚昭会長）は、白老ふれあい食堂実行委員会へ5万円を寄付しました。地域社会への貢献として実施している寄付は今回で4回目です。同実行委員会は月2回、手作りの食事を子どもたちに提供しています。この日は清水会長が同実行委員会の井原美智子代表に目録を手渡しました。また、飛生アートコミュニティー（国松希根太代表）へ25万円を寄付しました。町立図書館へは、図書購入費5万円を寄付しました。（8月21日、24日、9月8日）

白老ライオンズクラブによる寄贈

白老ライオンズクラブ（吉谷一考会長）から、白老町中央公民館にデジタルサイネージ（電子掲示板）と町内小中学校全6校に各2台（計12台）の大型扇風機、白老町立図書館に子ども用ベンチ（電車型ベンチと花形スツール）が寄贈されました。白老ライオンズクラブは今年、認証60周年を記念して、北九州小倉東ライオンズと仙台菘ライオンズの三つのライオンズクラブ合同で奉仕活動に取り組みました。大塩英男町長は「これからは持続可能なまちづくりに協力してもらえたら」と話していました。デジタルサイネージの寄贈で、吉谷会長は「より多くの町民に目にいただき、末永く活用してもらいたい」と話しました。また大型扇風機の寄贈では「学校行事や部活動などで活用していただきたい」と話していました。（9月4日、6日）



熊谷商店からの指定寄付



株式会社熊谷商店（熊谷威二会長・熊谷貴洋社長）から、移住定住および文化振興の発展に役立ててほしいと、200万円の寄付（移住定住100万円、文化振興100万円）を受けました。創業から50年にわたり営業した熊谷商店を8月16日に閉店、多くの町民に利用していただいた感謝の意を込めました。熊谷会長は「町民の皆さんと職員の皆さんに心から感謝申し上げます。町の発展に少しでも力添えできたらと思います」と語り、熊谷社長は「これからは町の発展のために頑張っていきたい」と話していました。大塩英男町長は「町民の憩いの場として多大な地域貢献をしてもらえて感謝します。これからはまちづくりに協力してほしい」と話していました。（8月28日）